

## 平成 27 年度 全体研究開発報告書

1. 事業名：革新的バイオ医薬品創出基盤技術開発事業
2. 研究開発課題名：革新的バイオ医薬品創出に向けての知財・出口戦略の策定
3. 研究開発代表者：国立大学法人東北大学大学院医学系研究科附属創生応用医学研究センター  
特任准教授 赤堀浩司
4. 研究開発の成果

### I 実施内容

#### A 知的財産戦略

- ・ 知的財産戦略の策定  
各技術開発課題の知的財産の保有状況を精査するとともに、研究開発代表者等に企業導出に必要な特許の確認を行った。これに基づいて、知的財産戦略を策定し、PS, PO, 推進委員会、AMED 事務局らに情報提供を行い、課題評価や進捗管理に活用した。また、複数の課題に関連するテーマについて、調査会社を利用した特許調査を実施した。
- ・ 知的財産に関する相談  
相談があった複数の技術開発課題に対して、特許出願戦略等の助言を行った。
- ・ 知的財産の管理  
各技術開発課題の重要特許について経過情報の追跡を行ってその把握に務めた。

#### B 出口戦略

- ・ 各技術課題の計画書、報告書、ヒアリング等の機会を通じて、事業化に向けた計画の妥当性の検討を行い、研究開発代表者への助言や推進委員会等への情報提供を行った。
- ・ 技術開発課題 1 件について、導出候補企業の紹介を行い、連携が開始された。
- ・ 複数の技術開発課題に対して、企業との共同研究に関して、枠組み作りや契約についての支援を行った。

#### C 薬事相談対応

- ・ 薬事についての直接的な相談は無かったが、薬事を踏まえた開発戦略の策定を行うべき技術開発課題については、ヒアリングの機会を通じて助言を行った。

#### D その他

- ・ PS, PO, 推進委員、AMED 事務局らと連携して、技術開発課題に対するヒアリングを実施した他、計画書・報告書・計画変更の精査を行って、進捗管理を進めた。
- ・ H27 年度に新規に技術開発課題を公募するにあたり、PS, PO, AMED 事務局らと連携して、公募対象領域の検討を行った。
- ・ 導出の定義を定めた「EXIT の考え方」の改定など、推進委員会の事業運営に関して、AMED 事務

局と連携して支援を行った。

- ・ 知財戦略や出口戦略策定のための情報収集活動を随時行った。

## II. 活動

- ・ 運営委員会 9回
- ・ 推進委員会（陪席） 8回
- ・ 課題評価委員会（陪席） 3回
- ・ H27年度課題公募のための領域検討の会議 2回
- ・ 技術開発課題の勉強会 6回
- ・ 課題ヒアリング 14回
- ・ 本事業のワークショップ 1回